

動労水戸

国鉄水戸動力車労働組合

水戸市三の丸三・一・三
 発行責任者 石井真一 編集者 西納岳史
 電話 029・227・6020
 FAX 029・227・6291

被曝労働絶対反対!

7・12原ノ町～小高延伸反対ストに立ち上がる!

苦しむ仲間のことを
 今こそ真剣に考えよう

みんな知っているだろうか？

7月12日の原ノ町～小高間
 開通と年内の仙台間開通に向
 けて、原ノ町に反される仲間た
 ちが真剣に悩んでいる。大震災
 と原発事故から5年がたち、
 職場が変わり避難してきた仲
 間たちは、子供が生まれたり家
 を建てたりしている。生活基盤
 が変わってしまったのに「原ノ町
 に戻れ」と迫られているのだ。

原ノ町との兼務発令で来てい
 る仲間が所属しているJR東
 労組は「兼務者集会」をやってい
 るが、地方本部の責任ある役
 員も出席せず「兼務者どうし
 で愚痴を言いあう場」でしかない
 という。東労組は開通も兼務
 解消もすでに会社と合意してい
 るからそうなるのだ。

組合員の深刻な悩みそつちの
 けの「たしる選挙」は、一体誰の
 ための選挙なのだろうか？

会社は動労水戸との団体交
 渉で「福島第一原発は燃料取
 り出しが始まり収束に向かっ
 ている」と説明した。原子炉の中

がどうなっているかも分からな
 いのだ。除染で出た放射性廃
 棄物を収めるフレコンバックは、
 「表面の空間線量率を測定・記
 録し、環境省指定の10ヶ々の
 管理番号を書く」という決まり
 があるが、JRの下請け企業は
 これらの義務を怠っているとい
 う情報もある。沿線のり面の
 「モルタル吹き付け」は線量のご
 まかしのために過ぎない。

南相馬の住民だけでなく、子
 どもがいる社員なら心配する
 のは当然のことだ。政府が「原
 発事故の影響ではない」と言っ
 小児甲状腺ガンが173人に
 なった。その子供たちや、親の
 身になって考えてみよう。そし
 て、労働組合とは誰のためにあ
 るのかについても考えて欲しい。

常磐線全面開通に 絶対反対する

安倍政権とJR東日本は、2
 020年東京オリンピックに向
 けて常磐線全線開通を宣言し
 た。7月12日の南相馬市小高
 区の避難区域解除に合わせた、
 原ノ町～小高駅の常磐線延伸



常磐線全線開通に反対し街頭宣伝(5月22日・いわき駅)

とは、全面開通・全面帰還によ
 る福島県民への補償切り捨てで
 あり、被曝の強制なのだ。
 JR社員の問題は、そのまま
 地域住民と福島県民の問題に
 なる。自分たちだけの問題に止
 まらないのだ。

すでに全面開通した常磐道で
 5月4日に発生した死亡事故
 は、福島第一原発の脇を通る
 常磐線で故障や事故が発生し
 た場合の危険を物語っている。
 常磐道事故では夜間でドクター
 ヘリが使えず、遠方から救急車
 が向かったために助かる命も助

からなかった。そしてバスの乗客
 40名など多くの人が高線量に
 何時間もさらされたのだ。
 水戸支社は「複線の片方を道
 路にして救援に向かうことができ
 ない」などと言っている。この事
 故から真剣に学ぶ姿勢もなく
 「問題なし」と言っているのだ。

こんなことを了解できる労働
 組合って、一体何なのだろうか？

常磐線全面開通と 全面外注化は一体 本質は労働組合破壊

常磐線原町～小高間開通と
 一体で、ひたちの牛久駅・神立
 駅が外注化され、「若年出向者」
 も出ている。さらに相馬・湯本・
 常陸多賀の各駅も外注化の対
 象にされている。水戸支社が原
 ノ町駅の隣の鹿島駅を「運行再
 開で小高駅に駅員を移すため」
 として無人化することにに対し、
 地域住民から怒りの声が上がっ
 ている。

検修外注化も動労総連合の
 猛然たる闘いと青年たちの怒
 りによって交番検査や機動班が
 JRに残っているが「管理部門
 をのぞく全面外注化」が撤回さ
 れたわけではない。

仙台駅でさえ外注化され、青
 年たちが出向に出されている。
 本体労働者より賃金の安い外
 注会社のプロパーがどんどん採

用され、養成されている。エルダー
 社員はもとより、本体の青年た
 ちの行き先(戻り先)もどんど
 んなくなるのは当然だ。その先
 に「転籍」しかないことがこの社
 会の常識となっている。

理不尽極まりない常磐線全
 面開通と闘わない労働組合は、
 全面外注化とも絶対に闘えな
 い。私利私欲で自分のことだけ
 を考える労働組合の役員は、
 組合員と向き合うことなく必
 ず逃げる。「みんなのため」なん
 ていう嘘をついているからだ。

組合幹部や議員ではなく あなたたちに力がある

真実は、職場で働いている今
 のあなたたちが一番力を持って
 いるということだ。団結して闘
 えば現実はずが変わる。動労
 水戸はそれを証明してきた。

7月12日、動労水戸はストラ
 イキでいわき抗議行動を行う。
 昨年結成された動労福島は、
 同日原ノ町駅に登場し、抗議
 行動に立つ。さらに6月に結成
 した動労東京は、JR東日本
 本社前抗議行動(新宿)を決定
 した。動労総連合は断固とし
 て常磐線全線開通攻撃に絶対
 反対で闘い抜く。
 今ならまだ選択の自由があ
 る。動労総連合に結集し、共に
 生きよう!